

かさおか



社協だより

2024
6月
No.146

ホームページ <http://kasaoka.or.jp/> (Facebook・Instagram 更新中! 登録をお願いします)



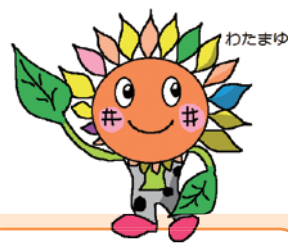
社協北木島支部友愛訪問

Contents (目次)

P2~3 福祉委員特集
P4~5 包括支援センター

P6~7 お知らせ・募集
会費・寄附・職員紹介
P8 防災イベント

福祉委員ってなに？



見守り支える



■地域で気になる方の見守り

自治会長や民生委員、その他の地域の人々と協力し、地域で暮らすひとり暮らし高齢者等の見守り活動を行っています。

友愛訪問

見守りの必要な高齢者等にお弁当等を持って、自宅を訪問します。対象となる高齢者等の安全の確認をおこない、安心した生活が送れるように取り組んでいます。

★社協北木島支部の友愛訪問を紹介します。



北木島支部では80歳以上の一人暮らしの高齢者宅に友愛訪問を行っています。この日は福祉委員さんが、かしわ餅を持参して約70世帯を1軒1軒回り、お話をされていました。「お元気にされてましたか?」「いつもありがとう」とみなさん、笑顔がステキでした!!



安全パトロール挨拶運動



学ぶ



■福祉委員研修会等の実施

地域がつながるまち会議（小地域ケア会議）

社協支部を中心に地域住民と専門職が話し合い、困りごとのある人を早期発見、対応できるよう、連携し合う場です。

例えば、住宅地図を使って支援を必要としている人や、見守りに協力してくれる支援者（福祉委員・民生委員など）を確認します。そして、作成をした地図を参考に“地域”にどんな「見守り」「支えあい」の仕組みがあればよいのか、またいざという時のためにどのような準備が必要か福祉委員や民生委員が中心に、専門職を交えて話し合います。



福祉委員研修会

地域福祉活動の推進のため、また昨今の施策・制度の変容に対応するために、定期的に福祉委員研修会を開催しています。



福祉委員さんの日常的な見守りや声かけに活用されたり、災害時に活用されたりするんだね。



つながる



高齢者サロン（いきいきサロン）

地域の高齢者が気軽に集まる、楽しい仲間づくりの活動です。サロン活動を通して地域における互助の力が強まります。



世代間交流

少子高齢化、核家族化が進み家庭内で高齢者と子どもが関わる機会が減少するなか、地域において世代を超えたつながりや相互理解を深めることを目的とした活動です。

笠岡市では、おおむね小学校区ごとに20の社協支部を組織しています。そして全ての支部で福祉委員の設置を行っています。福祉委員はみなさんが住んでいる身近な地域での福祉課題や情報を把握し、社協支部の構成員として活躍するボランティアです。今回は福祉委員の代表的な活動について紹介します。

いのちのバトン



いのちのバトンは概ね75歳以上の一人暮らしの方を対象に、何かあった時(自分が話をできない状態になった緊急時)を想定し、かかりつけ医や連絡してほしい家族などの情報をあらかじめ記入し、冷蔵庫へ保管する情報ツールです。また、バトンを通じて福祉委員・民生委員さんなど社協支部の役員さんとの顔つながりが出ています。

伝える



支部広報誌の発行

20の社協支部では広報誌を発行し、地域福祉活動の理解を進めています。

支部で行うサロン活動や友愛訪問などの活動を地域の皆さんに分かりやすく紹介してるんだなあ～
悪徳商法や熱中症の注意喚起もしてるんだね



支部の広報紙は各社協支部が独自に作成しています。(ホームページに掲載しています)



社協支部の活動やサロン活動等の参画・協力

子育てサロン

孤立しがちな子育て家庭を地域で支援することを目的に、子育ての楽しみや仲間づくりを行う活動です。

★社協金浦支部の子育てサロンといきいき百歳体操を紹介します。



旭が丘集会所で毎週1回、いきいき百歳体操を開催しています。この日は32名が参加され、体操の後、公園でお花見をしました。最高齢の参加者はなんと91歳!! 「みんなとって話をするのが楽しみなんよ～」 「ストレス解消になる!!」 「病院の先生から参加してから足が良くなったよ、と言われたんよ～」とみなさんおいしいお弁当を食べながら話してくださいました。

運動教室

(いきいき百歳体操)

血圧測定・水分補給などを行い、椅子に座って「いきいき百歳体操」を行い、介護予防をすすめています。

金浦子育てサロンは平成16年から開催され、今年で20年目を迎えます。愛育委員さんを中心に、金浦支部役員も連携をとり活動されています。

参加者から「今日はお友達と遊べて楽しかった～」 「工作でかわいい作品が作れてうれしかった～」と喜びの声が…

「今年度から対象を小学生まで広げ、土日開催にして、家族みんなで参加していただけるようにしました。」と金浦支部役員の方から話を聞きました。保護者の息抜きの場、友達づくりや誰にでも相談できる子育てのしやすい地域になるよう活動を行っています。

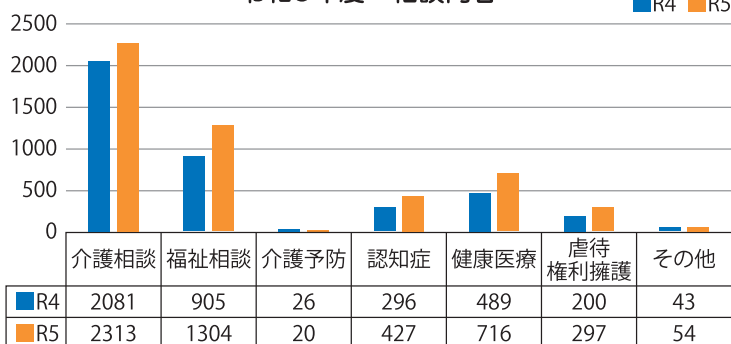


地域包括支援センターのとりくみ

相談件数

令和5年度の相談件数は4,299件と昨年度(3,415件)比で125%増となっています。相談内容は、介護相談や福祉相談が多く、虐待権利擁護が148%増、健康医療146%増となっています。コロナ禍で介護サービスや外出などを控えられていた方からの相談が多く見受けられています。気候も良くなってきています。できる限り体を動かして元気に過ごしたいですね。

令和5年度 相談内容



(表は相談件数を分類わけしたものの。件数と分類数は一致しない)

認知症 サポーター 養成講座



認知症の疾患について知り、寸劇やDVDの視聴をとおして、認知症の人の気持ちや関わり方について、理解を深めています。

受講を希望する方は、5名以上の団体で申込みが出来ます。

申込先:地域包括支援センター
☎62-6662



もの忘れ...
まだ大丈夫かな?



が

相談どき



「認知症は、早く気づくことで将来への備えや支援の幅が広がります。」

地域包括支援センターの仕事をしていると様々なケースの対応にあたります。支援の一コマについてご紹介します。

【ある事例】

病院から外来で通院中の方の相談があったケースです。親族と疎遠となっている一人暮らしの方で、認知症が進行しています。自宅を訪問すると玄関を開けた所から未開封の書類や衣服など様々なものが山になっており、床が見えているのはわずかでした。

年金は2カ月に1回まとめて振り込まれますが、1カ月でほぼ使い切り、残高が無く、生活は破綻していました。ご本人は金銭管理や一人暮らしに強い不安を感じていました。

親族の支援も得られない中、当センターと市役所と

成年後見センターで対応について協議を行いました。認知症が進行し判断能力が低下していることから成年後見の申立てを行い、第三者による金銭管理と施設入所のための代理契約の支援が必要との結論となりました。申立てには四親等内の親族が行わなければいけません。親族がいないため、市長申立てを行う方針となりました。

施設入所までの数カ月は、介護サービス事業所と当センターで連携し、通院の支援や金銭管理の助言などを行いました。そして、数カ月を経て施設入所の日を迎え、ご本人は安堵した表情をされて入所しました。

家族と疎遠になっている一人暮らしの方は、ご本人の心身の機能が低下し、多問題を抱えた状況で相談に至る場合が多くあります。一人暮らしの方の情報は、なかなか分かりづらく、ご近所の方の情報が頼りになります。

いのちを考える

「本日は私の葬儀にご会葬いただきありがとうございました。」という文章から始まります。小説でも生前葬でもありません。知人の「御会葬御礼」の冒頭です。亡くなった本人が、自身の葬儀のお礼文を書いている、驚きました。

人は生まれてきたら必ず死にます。それは誰もわかっていることです。ただ、日々の生活の中に、忙しさの中に埋もれています。



お礼文は続きます。

「皆様方にさよならするのはやはりさみしく悲しいものですが、今ここに長い間幸せを共にしてきた家族親族がいてくれる、仕事や遊びを共にしてきた先輩や後輩、同期の友がいてくれる(中略)見送られるただそれだけで本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。皆様方より先に逝くからといっても、決してかわいそうな人生だったなどとは思わないでください。(中略)

幸せの基準や価値観は人それぞれです。動けなくなるのは確かに不自由ではありませんが、決して不幸だとは思ってはおりません。

かえて今までにないほどに、人のありがたみを感じることができました。だからこそお世話になった人への感謝の心で満ちたりた中、心安らかに旅立っていくことができるのです。



より良く生きるために
ふだんから死を考える



ただ、気がかりといえば、残していく家族のことです。苦楽を共にし、長年連れ添った伴侶をはじめ、いつまでも子どもとして甘えさせてくれた両親、何かと気に掛けてくれ、何くれとなく皆を支えてくれたきょうだい、そして何と云っても親としても喜びを与えてくれた子どもたち。家族誰もが私の旅立ちを心穏やかに受け入れ、その日常がこれからも変わることなく、そして時が止まることなく、永遠に続くことを切に願っております。

皆様方には、今後とも残された家族に対しましても、心からの思いやりをいただきますようお願いいたします。」

知人のように心安らかに旅立っていくことができると言い、日常が変わることなく時が止まることのないように願っていると云われれば、残された家族は悲しみの中にあっても、どれだけ心が安まることでしょう。

自分がどう生き、どう死にたいか、何が幸せか。知人のような生き様はできないな、と思いつつも死は隣にあります。

手術をしたり、入院した自身や家族が、高齢であったりした場合「急変時にどこまで延命措置をしますか」と尋ねられます。えっ、そんなに病状が悪いの?と、不安になり、また、急変って何?延命措置って何があるの?どうしたら良いかわからない…と感じるのではないのでしょうか。

急変とは何か、延命措置とは何か、自身や残される人のために、死を考え、どう生きたいのかを考えてみませんか。

Information

暮らしに役立つ情報や、イベント情報、各種募集のお知らせです。

ホールde舞台体験

保健センターギャラクシーホールで、ピアノやダンス等の日頃の練習を舞台上で体験してみませんか

開催日:7月30日(火)31日(水)

8月14日(水)16日(金)19日(月)20日(火)

時間:10時~17時 最大2時間まで

会場:ギャラクシーホール舞台(客席利用不可)

利用料等:1時間500円 1組20名まで 1組1回まで

※利用条件等詳細はお問合せください

申込・問合せ 保健センター ☎62-5701

ふれあいほのぼの相談

民生委員、ソーシャルワーカーなどによる介護相談、生活相談などの一般相談をおこなっています。

「話す」という少しの勇気で変わることもあります。お気軽にどうぞ。

・民生委員による相談受付

毎週木曜日10時~12時

・社協職員による一般相談

平日8時30分~17時15分

問合せ☎62-3507

家庭生活の中のちょっとしたことで困っている方、相談してみませんか?



共同募金 助成金募集!

赤い羽根まちづくり福祉活動助成

「見守り」「助け合い」「孤立を防ぐ」地域福祉活動に積極的に取り組む団体の活動費を助成

対象:笠岡市内に所在するNPO・ボランティア・

福祉活動団体など

助成金額:1団体 5万円まで

助成金交付:令和6年10月1日(火)

応募締切:令和6年6月28日(金)社協必着

助成決定:令和6年7月中旬



歳末たすけあい地域福祉団体助成

地域福祉活動を行う団体の活動資金を助成

対象:笠岡市内に所在するNPO・ボランティア・

福祉活動団体・社会福祉法人など

助成金額:1団体 10万円まで

助成金交付:令和6年12月2日(月)

応募締切:令和6年6月28日(金)社協必着

助成決定:令和6年7月中旬

申請書は社協ホームページからダウンロードできます。また窓口でもご用意しています。 問合せ☎62-3507

無料法律相談

弁護士による無料法律相談。先着順での受付です。予約はお早めに。同じ方からの相談は、1年に1回となります。

毎月第3金曜日14時~(9月、3月は第2金曜日)

4名まで

相談時間:一人30分以内

要予約☎62-3507



介護者の会(そよ風の会)会員募集!

介護について一人で悩んでいませんか?

笠岡市介護者の会(愛称:そよ風の会)は、介護の悩みの共有や介護から離れてリフレッシュする事を目的に集まっています。会員同士の交流会や旅行など様々な楽しい企画をしています。

対象:笠岡市内在住の介護者(介護OBも可)

開催日:毎月 第2水曜日 13時30分~

場所:いきいき交流センター 会議室

会費:年間 1,000円

申込・問合せ☎62-3507

気軽に参加できる会です。ひとりで悩まずご参加ください。

サンライフ笠岡特別講座

スマホ超入門講座~LINE編~

・日時 6月26日(水) 10時~12時
7月3日(水) 10時~12時

・準備物 スマートフォン

・参加費 無料

・締切 6月20日(木) 申込・問合せ☎63-1533

ドローン・プログラミング講座

・日時 7月30日(火) 10時~11時30分
8月6日(火) 10時~11時30分

・参加費 2回1,000円

・締切 7月19日(金)

※小学生の方は親子で参加してください

申込・問合せ☎63-1533



ハーバリウムボールペン作り

・日時 7月31日(水) 10時~12時

・準備物 ペンセット、ハンドタオル

・参加費 1,200円

・締切 7月24日(水) 申込・問合せ☎63-1533

社会福祉協議会へのご寄附ありがとうございました

令和6年2月1日～令和6年4月30日

※掲載についてご了承いただいた方のみ、お名前を記載させていただいております。

満中陰志

亡父 宮西 伸三(笠岡)
亡母 仁科 智之(今立)
亡母 福島 則明(馬飼)

一般寄附

笠岡市立笠岡西中学校
(株)マシヒラガス
笠岡通運(株) (敬称略)

お詫びと訂正

社協だより第145号P7のフードバンクのご寄付名に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

【正】齋藤 秀良 【誤】齋藤 秀吉

市民後見人養成課程受講説明会開催のお知らせ

認知症や様々な障がい等の理由によって判断能力が不十分な方々の生活を同じ地域住民の目線から支えていく「市民後見人」を養成するにあたり事前説明会を開催します。 ※養成課程を受講するには、この説明会への参加が必須となります。

日時:8月9日(金)14時～15時

場所:サンライフ笠岡第一講習室

対象者:30歳以上70歳未満の方

申込締切:8月7日(水)

◆申込・問合せ先

笠岡市・里庄町成年後見センター

☎62-5590

福祉用具 リサイクル

笠岡市社会福祉協議会では、福祉用具のリサイクルを行っています。ご自宅にある「まだ使えるけど捨てるのはもったいない!」そんな福祉用具・ベビー用品を受け取り、次に必要とされる方に無償でお引渡しする、仲介を行っています。お気軽にご連絡ください。

問合せ☎62-3507

● リサイクル実績 ●

毎年たくさんマッチングしています!

	R4年度	R5年度
ゆずります(提供)件数	172	143
ゆずってください(希望)件数	150	131
マッチング件数	164	117

手話サークルの紹介

3月18日のボランティア体験に、中学生・高校生各1名の参加がありました。聴覚障がい者の方との交流をし、2人とも手話を少し習ったことがあるとのこと、聴覚障がい者の方も喜んで交流でき、楽しいひと時を、過ごすことが出来ました。

高校生の方は、手話奉仕員養成講座入門に、中学生の方は、大島公民館手話講座に繋がっていただきました。手話に興味のある方は、いつでも体験できますので連絡ください。お待ちしております。問合せ☎62-3507

会費・寄附のお願い

誰かの笑顔が、あなたの優しさから生まれます

「みんなでささえて誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざすため、地域の皆様をはじめ、団体・企業からいただく会費や寄附金のご協力を頂いております。皆様から頂いた会費や寄附により、様々な地域福祉事業を行っておりますので、活動趣旨にご賛同いただき、ご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



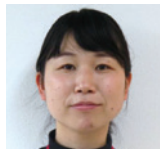
- 普通会費 年 500円(1世帯)
- 賛助会費 年1,000円(1人あたり)
- 特別会費 年5,000円(1口あたり)

職員紹介 よろしくお祈いします!



事務局次長兼
地域支援係長
小林 修

4月より笠岡市からの派遣で事務局次長兼地域支援係長として着任しました。これまで福祉分野での業務経験はなく、全てのことが新鮮で学ぶことばかりではありますが、地域の皆様に寄り添って、地域福祉の推進に取り組んでまいります。一日も早く皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、ご指導よろしくお願いいたします。



地域福祉係
河田 滯

2月より地域福祉係に配属となりました。前職では作業療法士として訪問でのリハビリを行っていましたが、これまでとは違う業務が多いですが、経験を活かしつつ、より地域の中に入り込んで住民の皆さんと一緒にお仕事することに魅力を感じています。至らぬ点多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



包括支援センター
三上 舞

4月から笠岡市との人事交流で地域包括支援センターの社会福祉士として着任しました。2年間という短い期間ですが、たくさんの方々との出会いを大切に、地域の皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。至らない点多いと思いますがよろしくお願いいたします。

平成30年の豪雨災害から6年 普段からできる災害への備えはじめていますか

夏に向けて台風や集中豪雨の多い季節が近づいています。様々な災害が懸念される中でわたしたちができる必要な備えを確認してみませんか。



●居住地のリスクを知る

災害について「知る」ことも備えの一つです。住んでいる場所にごどのようなリスクがある？ 避難場所は？ 必要な情報入手して備えましょう。



●モノを備える

過去の災害の教訓から物資が手に入りにくい状況が1週間以上続くことが考えられます。自宅での備え、自宅外へ持ち出すための備えを確認しましょう。



●コミュニケーションを大切にする

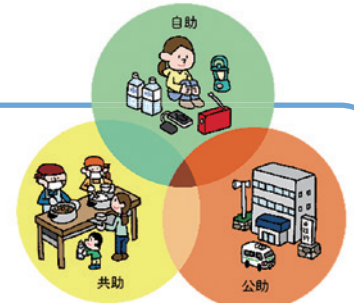
災害への備えにコミュニケーションは欠かせません。家族だけではなく、地域住民同士の日頃からの交流が災害時にわたしたちの命を守る備えにつながります。



令和5年の1年間、日本で震度3以上の地震は197回起きていますが、これは1.8日に1回起きているという事です。災害はいつか起こるのではなく、いつでも起こると思って自分なりの準備をすることが大切です！

防災について考える中で生まれた防災イベント

第3回「ぼっけえ防災」開催します！



日時 令和6年7月6日(土) 10時～14時

場所 サンライフ笠岡(笠岡市十一番町16-2)

防災に対しての自助力を高めるため、災害について考える場を提供し、各家庭にあった災害の備えを再考する機会を提供していきたいと考えています。こどもから高齢者まで参加でき、身近な所から防災について考えるイベントです。市内外の多くの企業や団体さんの協力を得て、いろいろなコーナーを用意しています。「見て、聞いて、食べて、体験して！」みなさまの参加をお待ちしています。

火災時の煙を体験



災害時に役立つ車が集合



はしご車

自衛隊車

電気自動車

キャンピングカー

ブルーシートを使ったバジコ・コサージュ作り／土のう砂入れ体験



防災食試食いろいろ



ダンボールベッド 防災グッズいろいろ



VRで災害を体験



火おこし体験



消火器体験



他にもいろいろ…

- クイズラリー参加者には記念品をプレゼントします。●飲食ブースもいろいろ準備しています。
- ゆめのわアプリでのライブ配信があります。●防災グッズ展示・販売があります。
- 上記は一部内容です。開催について詳しくは社協HP かSNS をご確認ください。

問合せ ☎62-3507

この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。
ホームページアドレス <http://kasaoka.or.jp/>
最新情報や福祉用具リサイクル情報の詳細はホームページをご覧ください。

Facebook・Instagramも
更新中です。
登録をお願いします。



Facebook

Instagram